市小だより　第3号

平成２８年６月９日
長久手市立市が洞小学校

　ゴールデンウィーク明けから、運動会練習に明け暮れた５月、子どもたちはよく頑張りました。当日は曇天でそれほどの暑さもなく、子どもたちは精一杯力を出し切ることができました。そして、今度はもう梅雨入り。気温の変動も大きく、体調を崩しやすい時期です。大きな行事が一つ終わって、学習に落ち着いて取り組む時期でもあります。お子様の体調管理には十分気を付けていただきたいと思います。

運動会の応援ありがとうございました

　５月２８日（土）、ちょうど良い天候の中、運動会が行われました。たくさんの方々のご参観・ご声援をいただき、ありがとうございました。

〈赤組　応援団長　福島悠斗くん〉
　ぼくがこの１か月間、運動会に向けてがんばったことは、大きな声で応援する練習や、誓いの言葉などです。
　赤組応援団長として、優勝旗を手にしたとき、うれしさのあまり涙が目にたまっていました。

〈白組　応援団長　森田凌成くん〉
　ぼくは応援合戦の前、すごくきんちょうしていました。言葉をまちがえないかとか、赤組より大きな声を出せるかとか、とても不安でした。けれど、実際やってみたら、あっという間に過ぎました。結果は負けたけれど、今後に生かしていきたいです。

プール清掃

１３日（月）のプール開きを前に、５月３１日（火）、６年生が全員でプールの清掃を行いました。２時間ほどですっかりきれいになりました。水を張り、あとは水温が上がるのを待つばかりです。水着等、持ち物の準備・記名をよろしくお願いします。

また、先日の文書でお知らせしたように、本年度から水泳授業の日には「プールカード」に朝の検温結果を記入し捺印をいただいて、確認することになりました。ご面倒をおかけしますが、健康状態を把握し、安全に実施するために、よろしくお願いします。

「忘れ物」について　～「しつけ」とは？

最近、気になることのひとつに、「忘れ物を取りに来ました」と、夕方来校する子どもが多いことが挙げられます。中には、暗くなってから来る子どもや、土曜日・日曜日に来る子どももいます。もちろん、自分で気がついて「しまった！」と思って来る子どもや、それがないと習い事などで困るということで来る子どももいます。でも、教室へ一緒に行きながら（本館ワークスペースや東館は施錠されているので、忘れ物を教室へ取りに行くのは教師が付き添います）話を聞くと、家の人に言われて取りに来たという子どもが意外に多いのです。

暗くなり始めてから学校に来ることは、交通事故や不審者等の事故・事件に遭遇するリスクが高くなります。そのため、学校では、原則忘れ物を取りに来ないように子どもに指導しています。これは、登下校中も同じです。何よりも、子どもの「安全・安心」を大切にしたいと考えています。

そこで、保護者の方にお願いしたいことが二つあります。

一つめは、子どもに忘れ物に対する自覚を高めさせることです。忘れ物をしなくなるようにするためには、「忘れ物をした」→「困った」「叱られた」→「しないように気を付けよう」という子どもの自覚の高まりが大切です。特に、「困った」という実感を味わわせるためには、時として、保護者の方が忘れ物を学校に届けていただくことも妨げになる場合もあります。必要な時には、学校から連絡を入れさせていただきますので、その際はよろしくお願いいたします。

二つめは、最近話題になっている「しつけ」について、家庭と学校で共通理解を図ることです。北海道で発生した事件では、「しつけ」により、子どもの「安全・安心」が脅かされました。先日、本校ＰＴＡの講演会で、講師の西村則子先生が、「しつけ」の意味を「大人になって美しい立ち振る舞いができるように子どもに教えること」とおっしゃいました。「躾」という字をあてることからも、本質的な意味がここにあると思います。「立ち振る舞い」は「行動」と言い換えることができると思います。「誰にも恥じることのない、美しい行動」を子どもに教えていこうではありませんか。

これからも、子どものために学校と家庭で連携し、様々なことに取り組んでいきたいと思います。ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。